

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年2月3日 (2011.2.3)

【公表番号】特表2010-512947(P2010-512947A)

【公表日】平成22年4月30日 (2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-542804(P2009-542804)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

A 6 1 L 31/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月10日 (2010.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の体内管腔内に移植するためのステントであって、

複数のストラットを含んでなるステント側壁構造と、少なくとも 1 つのストラットは、管外側表面と、管外側表面の反対側の管腔側表面と、第 1 の側面と、第 1 の側面の反対側の第 2 の側面とを含むことと、第 1 および第 2 の側面は互いに隣接して、管外側表面および管腔側表面を接続することと、

前記ストラットの全表面に配置されるように、管外側表面、管腔側表面、第 1 および第 2 の側面、ならびにストラットのその他の表面に配置される、第 1 のポリマーを含む内側コーティング組成物と、該内側コーティング組成物は、ストラットの表面に付与されるときには治療薬を全く含まず、管腔側表面に配置された内側コーティング組成物は、露出された表面を形成することと、

管外側表面または第 1 の側面もしくは第 2 の側面のうち少なくとも 1 つに配置された内側コーティング組成物の少なくとも一部の上に配置され、かつ管腔側表面には配置されない外側コーティング組成物と、該外側コーティング組成物は第 1 の治療薬および第 1 のポリマーを含むことと

を備えるステント。

【請求項 2】

内側コーティング組成物が前記ストラットの全表面の上に直接配置される、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 3】

外側コーティング組成物が内側コーティング組成物の上に直接配置される、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 4】

外側コーティング組成物は、管外側表面に配置された内側コーティング組成物の少なくとも一部の上と、第 1 の側面または第 2 の側面に配置された内側コーティング組成物の少なくとも一部の上とに配置される、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 5】

外側コーティング組成物が、第 1 の側面および第 2 の側面に配置された内側コーティング組成物の少なくとも一部の上に配置される、請求項 4 に記載のステント。

【請求項 6】

第 1 の治療薬が、抗血栓形成剤、抗血管新生剤、抗増殖剤、抗再狭窄薬、成長因子、または放射性化学薬品を含む、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 7】

第 1 の治療薬は、パクリタキセル、シロリムス、エベロリムス、ピメロリムス、タクロリムス、またはゾタロリムスを含む、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 8】

患者の血管内に移植するための血管内ステントであって、

複数のストラットを含んでなるステント側壁構造と、少なくとも 1 つのストラットは、管外側表面と、管外側表面の反対側の管腔側表面と、第 1 の側面と、第 1 の側面の反対側の第 2 の側面とを含むことと、第 1 および第 2 の側面は互いに隣接して、管外側表面および管腔側表面を接続することと、

ストラットの全表面の上に直接配置されるように、管外側表面、管腔側表面、第 1 および第 2 の側面、ならびにストラットのその他の表面の上に直接配置される、生物学的に安定性を有する第 1 のポリマーを含む内側コーティング組成物と、該内側コーティング組成物は、ストラットの表面に付与されるときには治療薬を全く含まず、管腔側表面に配置された内側コーティング組成物は、露出された表面を形成することと、

管外側表面に配置された内側コーティング組成物の少なくとも一部の上と、第 1 の側面および第 2 の側面に配置された内側コーティング組成物の少なくとも一部の上とに配置され、かつ管腔側表面には配置されない外側コーティング組成物と、該外側コーティング組成物は抗再狭窄薬および第 1 のポリマーを含むこととを備える血管内ステント。